

秋の全国交通安全運動「交通事故死ゼロを目指す日」交通安全イベント

本日、9月30日は、「交通事故死ゼロを目指す日」です。

本日の「交通事故死ゼロを目指す日」に、札幌駅南口で啓発イベントを実施しました。

北海道イエロースターズの「山田 滉太選手、谷 直也選手、岩崎 航佑選手」北海道警察のマスコットキャラクターの「ほくとくん」、「飲酒運転根絶戦隊！飲んだら乗れんジャー」、札幌時計台雲母（きらら）保育園の子供たちが駆けつけてくれました。

「飲んだら乗れんジャー」ショーでは、飲酒状態疑似体験ゴーグルを北海道イエロースターズの選手が着用し、けん玉に挑戦してもらい、視点が定まらず失敗し「お酒を飲むといつも通り見えなくなるから飲んだら運転をやめましょう」と飲酒運転根絶を訴えました。

また、「雲母保育園の園児」が「北海道イエロースターズの3選手」、「ほくとくん」、「飲んだら乗れんジャー」と一緒に「ハンドサインでストップ運動」を実践し、信号のない横断歩道では、手をあげて道路を横断する意思を伝え、ドライバーが「お先にどうぞ」とハンドサインで合図してくれたら「ありがとう」と言って横断歩道を渡る練習をしました。

街頭啓発では、のぼり旗で通行人に交通安全を訴えたほか、交通安全グッズを配布しました。

全国的な運動ですが、これまでこの日に「ゼロ」が達成できていないので、今年こそ、みんなで達成しましょう。



司会の吉田ともみさんとほくとくん



イエロースターズの選手の皆さん



ハンドサインでストップ運動



主催者代表挨拶（二瓶交通安全担当課長）



「飲んだら乗れんジャー」ショーの様子



街頭啓発の様子